HOIKU ほいく静岡 SHIZUOKA

発行　静岡県保育連合会　https://www.hoiku-shizuoka.jp/

88
2022年冬号

2. 年始のあいさつ
4. 創立60周年記念事業特集
　記念式典
5. 記念講演
6. 表彰者紹介
8. 民間園長研修会
9. ぶらんこ・園紹介
12. 委員会報告
14. 支部だより

写真提供：伊豆の国市　慈恩こども園

会長挨拶

静岡県保育連合会会長
土山雅之

新年明けましておめでとうございます。令和三年は新型コロナウイルスの感染拡大が大きく変動した年となりました。各施設とも、昨年に引き続きその対応に追われて大変な一年であったことと思います。

年度当初は市中感染が増えたり減ったりという状況で、子どもには感染しにくいウイルスで広がりはある程度押さえられていました。ところがデルタ株という変異株の感染爆発により、八月には過去最大の新規感染者数を記録し、緊急事態宣言が発せられ、保育園や認定こども園でのクラスターも報告されるようになってしまいました。そんな中でも保育は継続してきました。

新型コロナウイルスの感染防止と保育方法のバランス、様々な保育行事への対応など、まだまだ例年通りとはいかず、子ども達の経験が大幅に制限されてしまったり、マスクによって表情が見えないことにより喜怒哀楽の感情表現や言葉の獲得が遅れたりという事態に頭を悩まされ、新しい知恵を出し合って乗り越えてこられたことと存じます。

静岡県保育連合会の諸行事は、コロナ禍の中で二年目となり、経験値が上がってウェブ利用での研修会や会議もスムーズにできるようになりました。

九月後半からは新規感染者が大幅に減少し始め、集合しての会議や研修会も実施可能となりました。一年遅れの県保連創立六十周年記念式典も集合形式で無事開催され、久しぶりに直接顔を合わせた中で旧交を温めることができました。

さて、先日の報道によると、岸田文雄首相が「看護、介護、保育などの現場で働く方々の収入の引き上げは最優先の課題」と表明し、重労働なのに低賃金といわれている保育現場の状況を改善し、安定的に保育士の数を確保すべく、保育士の賃金が引き上げられる可能性が出てきました。実際に「公的価格評価検討委員会」も設置され、公定価格の見直しも始まったようです。

県保連としても、働き方改革についての研修会や保育現場の負担軽減のためのＩＣＴ導入のための研修会を開催してきました。その中でも必要なことは、働き手の確保は必須の事項となっていました。従って保育士の賃金引き上げということが保育現場の負担軽減と人手の確保につながればと思います。

六十周年式典でもお伝えしましたが、今後は保育者の資質を高めるためのキャリアアップ研修を継続し、県内の保育の底上げを図り、合わせてコロナ禍における保育のあり方ということも、真剣に考えていきたいと思います。様々に変化している状況の中、私たち保育所・認定こども園は地域で最も身近な子育て支援の拠点として、より質の高い保育を実践し、子どもの育ちを保障し、地域の子育て文化を育み、地域を元気にしていくための積極的な取り組みを展開していきたいと思います。

さらに少子化によって、一人一人の子どもに対する周りからの思いが大きくなっている現代、各園、各保育者とも社会から乳幼児教育の専門家集団としての期待には大きなものがあると思います。今後は私たち保育に携わるものが、乳幼児期から積み上げられていく教育とは何かを、保育を実践していく中で社会に説明していく必要があると思います。

令和四年、子どもの発達のために最善の方法を取りつつ、しかも感染防止に努めていく、新しい保育の方法をどのように確立していくか、私たちに課せられた課題は大きく重いものとなっています。県保連としてもコロナ禍を乗り越えた新しい姿を示せたらと思っております。ぜひ皆様のご理解とご協力をお願いし、私の年頭の所感とさせていただきます。

表彰 おめでとうございます

◆厚生労働大臣感謝状

辻　秀道
富士市　愛生保育園

栗原　正明
島田市　くりのみ保育園

新年の御挨拶

静岡県健康福祉部理事（少子化対策担当）
南野　剛

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで御挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が幾たびも流行する中、子ども達の保育に日々懸命に取り組んでいただいている保育施設の職員の皆様に改めて厚くお礼申し上げます。県でも保育施設の感染症対策関連の経費の助成、予防対策の助言を行う巡回支援、職員の相談窓口の設置、慰労金の支給などの施策を講じ、皆様と共にこの難局に対応して参りました。

ワクチンの普及、これまでの知見を踏まえた感染症対策の徹底などにより、今後の私たちの社会生活も少しずつ落ち着きを取り戻していくものと思います。一方、ＩＣＴの活用など新しい生活様式や効率的な働き方は社会に定着しつつあり、保育現場においても、業務へのＩＣＴ機器の導入は、珍しいことではなくなりました。子ども、家庭、保育施設の三者にとって有益である新しい技術の活用が今後も進んでいくことを期待しています。

さて、県の事業である保育士等キャリアアップ研修は、今年で五年目を迎えます。貴会のお力添えにより円滑に運営され、これまでに延べ六千八百人余の方に修了証を発行することができました。今年度は一部の研修でｅラーニングを導入し、コロナ禍における定員の確保を図っています。現場での職務に役立つ研修となるよう、皆様の御意見を伺いながら取り組んでまいります。

また、保育の質の向上を図るためには、保育人材の確保・定着が重要な要素であることから、保育士・保育所支援センターによる求人・求職支援、保育士試験対策講座など、確保支援を行ってきました。加えて、人材育成や働き続けやすい職場環境づくりのための保育施設への巡回支援を行うとともに、保育士の働き方について相談に応じる窓口を設置し、人材の定着支援を実施しています。

現在、国において、「こども家庭庁」の創設や子ども関連施策について、子どもと子育てという視点から、議論が行われております。

本県といたしましても、こうした国の政策をしっかり踏まえながら、県内のすべての子どもと子育て家庭が思いやりに満ちた地域の中で、将来の夢を描き幸福を実感できる〝ふじのくに〟の実現のために、今後も貴会の皆様並びに市町とともに保育・子育て支援の充実に取り組んでまいります。

結びに、静岡県保育連合会の皆様におかれましては、引き続き、県の保育行政への御協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

杉村　伸二郎
　三島市　社会福祉法人静岡恵明学園
後藤　千春
　富士市　岩松保育園
浅井　哲朗
　静岡市　月影保育園
大石　眞理子
　静岡市　こばと保育園

◆全国保育協議会会長表彰

加藤　喜久江
　沼津市　みくに保育園
鈴木　靖子
　静岡市　小鹿こども園
杉原　ひろみ
　藤枝市　あおぞら保育園
大橋　里絵
　浜松市　まるづかこども園

◆日本保育協会会長表彰

＊永年勤続保育者表彰（職員）

太田　啓代
狩野　容子
高柳　則子
竹村　真弓
　磐田市　いずみ第二保育園
矢澤　愛
　静岡市　一番町保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

＊保育功労賞

井原　佳明
　藤枝市　たちばな保育園

静岡県保育連合会創立六十周年記念式典

期日　令和三年十一月四日
会場　グランディエール ブケトーカイ（静岡市）

令和三年十一月四日に静岡市グランディエールブケトーカイにて、「静岡県保育連合会創立六十周年記念式典」が行われました。当日は感染拡大防止に十分な配慮をしながら、百三十人の会員園関係者を迎えての開催となりました。

式典では、来賓に静岡県健康福祉部少子化対策担当理事 南野剛氏、全国保育協議会会長 奥村正三氏、静岡県社会福祉協議会常務理事 髙橋邦典氏、全国保育士会会長 村松幹子氏、関東ブロック保育協議会会長 風間嘉信氏の五名をお迎えし、静岡県保育連合会副会長の岡田泰稔先生の司会により開会され、会長挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈、記念品贈呈が行われました。

会長挨拶では、土山会長から、「先輩方が保育と子どもたちに真摯に向き合い行政と手を携え長年に渡り努力をしてきたからこそ各方面から認められる一大組織となってきた。先輩達の思いを大切にし、更に県保連を発展させるべく皆様と共に努力をしていきたい。人間でいえば還暦に当たる六十年の節目に出会わせていただいたことに感謝の心を持ちながら歩んでいきたい」と挨拶がありました。

来賓祝辞では、南野理事からは「コロナ禍において保育現場で努力をされている職員に、知事から『くれぐれもよろしく』と労いの言葉を預かった。県の目指す『全ての子供が大切に育まれ子どもたちの笑顔があふれる社会の実現』に向け、今後も共に取り組んでいく。会と加盟園の益々の発展を願う」と祝辞をいただきました。

奥村会長からは、「貴会では県内の保育関係者の長きにわたり積み上げられた功績に敬意を表す。『全ての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現』を目指して六十周年を通過点としてこれまで以上に時代を先取りして歩んでいかれることを願っている」と祝辞をいただきました。

髙橋理事からは、「六十周年を新たな出発点として地域の子育て支援の中核団体として充実した活動を進めていくことを期待し、より一層の発展を祈念する」と祝辞をいただきました。

感謝状贈呈では静岡市竜南乳児園園長の太田嶋信之先生と富士市富士保育園園長の後藤弘明先生の両氏に、連合会創立五十年から六十年までの十年間に会長を努められ会の発展に尽力された事に対し、土山会長より感謝状が贈呈されました。

太田嶋先生と後藤先生からは十年を振り返りながら、今後に向けての挨拶をいただきました。

記念品贈呈では静岡市草薙ふたばこども園前園長で、現在、社会福祉法人 翼福祉会理事長の市川忠義先生、富士市緑が丘保育園前園長で社会福祉法人 信誠会理事長の内藤栄一先生、静岡市ゆりかご保育園園長の神野博行先生、浜松市太陽第二こども園園長の佐藤宏人先生（都合により欠席）の四氏に、連合会創立五十年から六十年までの十年間に副会長兼各支部長を努められ、会の発展に尽力された事に対し、土山会長より記念品が贈呈されました。

感謝状、記念品を贈呈された五名に会場から盛大な拍手が送られ閉会となりました。

六十周年記念講演

期日　令和三年十一月四日（木）
会場　グランディエール ブケトーカイ（静岡市）

六十周年記念講演は、ジャーナリスト落合恵子氏による、「子どもは大人の鏡です。子どもの本屋四六年」

落合氏は、栃木県出身、大学卒業後、文化放送のアナウンサーとして活躍。現在は子ども向けの本の専門店「クレヨンハウス」を主宰し、子どもや女性の問題で幅広く発言されています。冒頭、落合氏から、「何がイエスで何がノーか、それらが均等、拮抗している社会が見えることが大事です。」分断や格差が加速する世界で、どのように生きていくのか、生きていきたいのかを、弱者に寄り添い発信を続けている落合恵子さんのお話にすっかり耳を奪われました。

落合氏のお話の中で、色々な言葉や、歌、心に引っかかるビタミン剤のようモノも紹介していただき、著・長田弘氏の「言葉ってなんだと思う?」という詩の一片は、大変心に響きました。「言葉って何だと思う?決して言葉にできない思いが、ここにあると指すのが、言葉だと思う。」言葉に溢れ返っている現代において、言葉にする事で安心することもあれば、不安になる事もある。でも改めて言葉って何と問われた時に、それを表す言葉を見つけるのはとても難しい。言葉にできない思いがあってそれを表す言葉を見つけられなくても、その思いが一番大事なんだと、改めて認識できる素晴らしい詩の紹介でした。

そのほか、黒人専門の絵本屋さんのお話もしていただきました。

アメリカにおける黒人差別の歴史は長い。七〇年代ある地域に「黒人向けの本屋さん」を開いた店主の話。店主は長い間その本屋を営んでいた。あるとき、店に来店した一人の客に、「私を覚えていらっしゃいますか?」と、聞かれた店主は「覚えていない」と返答したが、彼によると、「私は医者で、子どものころここで、一冊の本を父親に買ってもらいました。医学の本です。」そこで、貴方は私にこう言ったのです。「君は必ず、医者になるよ」と、そして私は今、医者になり、たくさんの人を救っています。そう、店主につげたそうです。落合氏は「大人は子どもに希望をプレゼントできるんです。（反対につむこともできる）子どもに希望を持たせることは、大人の嗜み（たしなみ）ですね」と語りました。最後に「子どもにとって周囲にどんな大人がいるかによって風景が変わる。『あなたがあなたを生きることを応援する』と言った母の言葉が自分の活動の原点になっている。子ども時代に、丸ごと自分を受け止めてくれる空間は大事」という言葉が心に残りました。

落合恵子氏のお話を伺いながら、地域で子どもたちを見守る私たちもひとりでも多くの児童の心に留まるように日々子どもたちを見守っていきたいと感じました。

六十周年記念 表彰者紹介

令和三年十一月四日に静岡県保育連合会創立六十周年記念式典が、静岡市葵区のグランディエールブケトーカイ「シンフォニー」にて行われました。

式典内において、二名の先生方に感謝状の贈呈、四名の先生方に記念品の贈呈が行われました。

感謝状は

静岡市葵区　竜南乳児園
　園長　太田嶋信之先生

富士市　富士保育園
　園長　後藤弘明先生

に贈呈され、記念品は、

富士市　社会福祉法人信誠会
　理事長　内藤栄一先生

静岡市清水区　社会福祉法人翼福祉会
　理事長　市川忠義先生

静岡市駿河区　ゆりかご保育園
　園長　神野博行先生

浜松市南区　太陽第二こども園
　園長　佐藤宏人先生

に贈られました。

本稿では、感謝状が贈呈された二名の先生方のご挨拶や筆者のインタビューを掲載させて頂き、記念品を贈呈された四名の先生方の紹介をさせて頂きます。

まず、お一人目の太田嶋信之先生をご紹介致します。金融関係のお仕事に約十年お勤めになられた後、竜南保育園（現竜南こども園）にご勤務、そして平成十三年から平成三十一年まで竜南こども園園長を勤め、同年十月に小規模保育事業所を立ち上げ、現在は竜南乳児園の園長先生でいらっしゃいます。平成二十一年から平成二十四年の間、県保育連合会第八代会長としてご活躍されました。また、平成二十年度から平成二十九年度までは静岡県社会福祉法人経営協議会副会長をお務めになられました。

感謝状を拝受することについては、「意外である」としながら「大変ありがたい」と仰っていました。

太田嶋先生が県保育連合会の会長をなされていた中で最も印象的なことは平成二十三年の三月十一日の東日本大震災であったようです。発災後、岩手県に視察に行った際、全壊した保育所の様子や園児が犠牲になった話等を見聞きし、静岡県における災害時の保育所の対策を深く考える契機となったと仰りました。また、青年部会の組織化に着手し、若手保育者の育成や、五十周年記念誌の発行に取り組まれました。今後の保育界の課題・期待については、保育の量の確保はできつつあるが質の改善に本腰を入れて欲しい旨に言及し、経営者や現場の職員の「人間性・人格・品格」を身に付けることで子どもたちの教育・保育の質の向上に結び付くと話されていました。

次に、お二人目の後藤弘明先生のご紹介を致します。後藤先生は、富士市職員を約九年お勤めになられた後、平成二年から富士保育園園長としてご勤務されています。平成二十五年から平成三十年の間、県保育連合会第九代会長としてご活躍されました。今回の感謝状拝受にあたり、太田嶋先生同様「意外である」としながら「大変光栄なこと」と仰りました。

後藤先生は、県保育連合会を通して県内外の素晴らしい先生方に出会えたことがご自身の財産であると話されていました。保育に関する各種制度が大きく変化した時期に会長職を務められ、県保育連合会は様々な情報を共有することができる素晴らしい組織だと実感したそうです。また、皆さんに県保育連合会の歴史から多くのことを学んで頂き、さらなる発展を望むことを当日のスピーチで仰りました。少子化が進む中、質の高い保育が重要であり、親子関係を含め、しっかりと子どもたちを育てる重要性について話されました。

記念品の贈呈者四名の先生方を紹介させていただきます。内藤先生には平成二十五年度から平成二十六年度まで副会長兼東部支部長を務めていただきました。市川先生には平成二十一年度から平成二十四年度まで副会長兼中部支部長を務めていただきました。神野先生には平成二十五年度から平成二十八年度まで副会長兼中部支部長を務めていただきました。当日ご都合により欠席された佐藤先生は平成二十一年度から平成二十四年度まで副会長兼西部支部長を務めていただきました。

＊令和三年度＊

民間園長研修会ＷＥＢ

日時　令和三年十一月五日（金）

今年度の民間園長研修会は、『保育の魅力を発信し、保育者の活躍を導くために～ＶＵＣＡ時代に求められるリーダーシップ～』というテーマのもと、ＺＯＯＭ会議にて実施されました。

開講式では、土山会長より園の増加による待機児童解消と過疎少子化問題により、地域によっては定員割れを起こす保育園が増えており、保育サービスの在り方について地域別に再考する必要性が生じてきたことなどの状況情報をお話して頂きました。

【講義①】『保育行政の動向について』

静岡県健康福祉部こども未来課長

鈴木　安由美　氏

鈴木氏のお話では、静岡県の合計特殊出生率と出生数の年次推移において、近年更に少子化が加速する傾向にあり、ここ三年間で四千人も出生数が減少しました。これはたった三年間で各小学校が五クラスから四クラスに減少する勢いだということです。

静岡県としてはこれらの結果を受け、より一層子ども・子育て支援を充実させていく予定です。また元々減少傾向にあった婚姻数について、令和二年度には更に著しい減少が見られ、少子化対策には結婚支援が必要であると判断し出会いの機会の提供・結婚支援などもスタートするとのことです。

その他にも、男性の育児休業の取得促進、仕事と子育ての両立支援、保育人材の確保対策を実施していき、社会全体で未来を担う子どもと子育て家庭を応援していく方針をお話頂きました。

【講義②】『保育施設に存在するリスクとその備え』

社会保険労務士法人ゆびすい労務センター

名古屋支店長　山口　征司　氏

私の若かった頃は有休なんて取得できなかった、あなたたちはいいわよね。これは、あなたの為を思って言っているのですよ…。つい、管理者として日常の中で部下に対して言ってしまう言葉の中にハラスメントが存在すると山口氏のお話が始まり〝各種ハラスメントの定義を正しく理解すること〟・〝自園の各規程に追加すべき事項、新たに作成すべき規程を明確にすること〟を目標に、現代の法改正に合わせたハラスメントの定義・防止対策に対する認識を改め、同一労働同一賃金への対応、法人内で使用している給与規定や就業規則が法改正に準拠しているかについての判断を分かり易く解説してくださいました。

【講義③】『質の向上を目指す保育マネジメント トライ&エラーを職員の資質向上につなげるには』

玉川大学　准教授　田澤　里喜　氏

変化を恐れるリーダー組織はいずれ衰退していく。しかし、何らかの挑戦には失敗が伴う。先代から引継いだ幼稚園運営の中で、子ども主体の保育を実践していく為に日々トライアンドエラーを繰り返しつつ、保育の質を向上されてきた田澤氏の実践例を詳しくお話頂きました。

（保護者）「この幼稚園、詐欺ですよね」、（先代園長）「おまえはオレを否定するのか！」、園児数の減少、園の評価サイトへの心ない書込み、変化に合わせて痛みを伴い、それらの壁により職員間の意識を共有することの大切さや、保護者に対する発信の重要性、理解してくれる保護者を大切にし理解してくれない保護者には対話の継続を諦めないこと、などに気づき前進し続けていく姿を生々しくお話頂きました。

御殿場市　総合児童施設　富岳保育園　園長　勝又愛志先生

令和三年四月一日より富岳保育園（定員一四〇名）と児童発達支援センター富岳学園（定員四〇名）を合併させた全国でも珍しい総合児童施設がオープンしました。長年の願望であった幼児教育の保育計画を実践する保育園と、障害の早期発見・早期療育を掲げＴＥＡＣＣＨプログラムやムーブメントエデュケーションプログラム、療育目的別クラス編成などをミックスした療育で効果を上げている児童発達支援センターがそれぞれの強みを生かして一つになりインクルーシブ保育を展開しています。

理事長である山内剛先生は富岳式インクルーシブ保育とは「子どもの国籍・年齢・発達段階の障害の有無などの違いに関わらず、どのような背景を持った子どもでも包括的に受け入れる保育です。そして保育園と児童発達支援センターの持つ、それぞれの特徴を生かしつつ、子どもの多様性に合わせ保育の枠組みを柔軟に変えることのできるオールタイム保育、サムタイム保育、ちゃむあっぷ（仲良し）タイムなどの特別な保育を行うことができるのが富岳式の特徴です。」と講演会や研修会でお話されています。

オールタイム保育とは地域の保育所や幼稚園への移行や就学に向け、一日を通して富岳保育園の子ども達と生活を共にし大集団での生活を経験します。逆に富岳保育園の在園児で発達の気になる子は、富岳学園で小集団での生活を通し、お子様にあった療育を受けることができます。サムタイム保育とはオールタイム保育の一日を通してでなく、子どもの個性・特性を引き出す為に、また特別な支援を定期的に受ける為に、個人的な交流を通して二園の専門性を共有します。ちゃむあっぷタイムとは二園の壁を外し、様々な遊びを子ども達自ら展開し、子ども同士の関わりの中で沢山の喜びや学びのある時間にしていきます。

子ども達には、この総合施設を通して先ず「人には違いがある」を知ることができ、年中・年長児になれば周囲を見る目が育ち、協力や助け合い、譲り合い等の人との関わりを身に付けることができます。幼少期から障害のある子や外人の子、異年齢の子達と多種多様な人達と生活することで、抵抗力・免疫力がつき偏見や差別がなくなり、いじめの無い社会へ繋がります。幼児期のインクルーシブ教育は「人を差別しない大人」への第一歩となることを強く期待されています。

島田市　認定こども園エルフのみらい　園長　中野恵子先生

今回は、島田市東部六合地区にあります認定こども園エルフのみらいを訪問させて頂きました。かわいらしいエルフ（森の精）のシンボルが目を引きます。

園に入りますと園庭を所狭しと動き回り、伸びやかに思い思いの遊びを展開する子どもたちの笑顔が印象的でした。

昭和四十年代の六合地区は田園地帯から住宅化し、就労人口が大幅に増加してきましたが、保育園が無く、幼稚園では四・五歳児のみを入園させるため四歳未満児を預けられる場所がありませんでした。そのため地域の声から社会福祉法人立の保育園設置の動きが活発化し、昭和五十一年に法人と園が設立されました。地域（六合コミュニティー委員会）の中から設立理事を選出し、お寺の境内をお借りしてスタートしました。まさしく地域に寄り添った地域のためのこども園として、現在まで地域の児童福祉を充実させています。

定員は百二十三名で地域の保育ニーズが高く令和三年十月現在、百四十三名を受け入れています。園舎一階には〇・一歳児室。二階には二歳児・幼児室、ホールがあります。

コロナ対策にも力を入れていて、園内各所に除菌機能のついた空気清浄機が配置されており、光が差し込む明るい保育室でじっくりと活動を進める子どもたちの姿が見られました。

乳児クラスは個々に丁寧な愛着関係を築き、幼児クラスは異年齢（三・四・五歳児）の縦割り保育で幅広い友達との関係を築くなど、様々な人間関係を通して豊かな心の育ちを大切にしています。

保育活動においては、地域の自然環境を活かし散歩に出かけることも多くありますが、現在は、子どもの「やりたい」「やってみたい」という思いに添って環境を整え、子どもたちの遊びが継続し深まっていく過程で、友達と一緒に「集団での学び」や「ひとり一人の学び」ができるように、保育教諭もアクティブラーニングを学んでいる最中です。

また、子どもたちが将来、価値観の多様化やグローバル化する社会の中で、自己肯定感を持ち自分らしさを持ち自分らしさを表現し発揮できるように、ダンス講師（ヒップホップ等）や外国人講師と一緒に身体表現をして遊ぶ経験を、定期的におこなっているということです。

主体性を高め集団の中で協働しながら、理念の〝生きる力の基礎を養う〟姿を覗い知ることができました。

（左）エルフのみらい園長 中野恵子先生
（右）エルフのゆめ園長 平野貴久先生

今回はお忙しい中時間を取って下さり、園長先生をはじめとする職員の皆さまには心よりお礼申し上げます。

ぶらんこ

掛川市　智光こども園

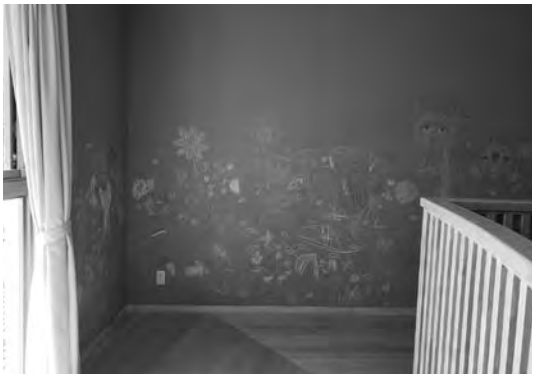
園長　佐々木快典先生

今回、西部地区「ぶらんこ」で訪問取材をさせて頂いた園は、町の中心部である掛川城の近くに今年度から新園舎で開園した「智光こども園」さんです。

智光こども園としては一年目ということですが、前身の智光幼稚園として六十年の歴史があり、地域の幼児教育の拠点として活躍してきた園です。こども園化にあたり学校法人天然寺学園から系列法人である社会福祉法人泉洞会へと法人の変更もあったそうで、乳児保育の勉強と設定保育から子どもの主体性を尊重する保育への転換のため、同法人の葛ヶ丘保育園との職員の交流も行い保育の質の向上に努めるなど、まさに転換期を迎えているということでした。

定員は、一号認定が百三十五名、二号認定が四五名、三号認定が三十名、合計二百十名で、九クラスが編成され、非常に活気のある賑やかな園です。

保育方針は「いいな！やってみたいな！」を重点目標に掲げており、子どもたちの主体的な活動を大切にしているということでした。実際に園庭や園舎を見渡して見ますと、子どもたちに「やってみたいな！」と思わせる環境の工夫がそこかしこに見られ、非常に魅力的な作りとなっています。生き生きとした表情で夢中になって遊び、いろいろなことを試してみたり、友だちとの関わりを楽しんだり、新たな発見を喜んだりする姿が多く見られ、園が子どもたちの心の拠り所になっていると感じました。もちろんそれは園舎のみの力ではなく、熱心な職員の皆様の努力の結晶でもあります。



園長先生に今後目指していく保育について伺いました。

遊びの中で失敗や衝突をしながら様々な能力を自ら引き出す特性を理解し、そうした体験で得た能力は、本や言葉で得た能力よりもずっと応用が効き、長く子どもたちの中に残っていくので、子どもたちの大好きな遊びをとことん追求し、学びや社会的ルールなどが子どもたちの中から自然と引き出される保育を目指していき、テストでは測れない「やり抜く力・コミュニケーション力、感情のコントロール力」なども、保育中の体験の中で伸ばしていきたい、ということでした。

認定こども園移行一年目であり、コロナ禍という大変な情勢の中、快く取材を受けて頂き、園長先生をはじめ職員の皆様には心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

専門委員会

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長　中里保育園　青野貴芳

令和三年度の県への要望事項は、先号に記載した通りです。

例年の委員会活動は年度の前半を中心に行われるため、現在、特に活動は行っておりませんが、時宜を得た要望活動に備え、絶えず情報収集を行っています。

コロナ禍という特殊事情が二年続いていますが、改善すべき中心課題は、やはり配置基準や職員処遇の改善であると考えます。

これらは恒常的な問題であり、コロナのように一時的・臨時的に対処できるものではないため、大幅に改善の余地があることは関係者であれば誰でも認識しているものの、なかなか前に進んできませんでした。

これらについては、財源等の問題が事態改善を阻んでいるのかもしれませんが、必要性は変わらないので、粘り強く要望を続けていきます。

また、予想を上回る少子化の進展もあり、定員割れの問題も顕在化してきました。こうした比較的新しいトピックも敏感にキャッチし、改善に向けて行政に働きかけていく所存です。

海外交流委員会

委員長　一番町保育園　海野美代子

令和二年度、令和三年度の計画は、コロナ感染症拡大の影響で計画はしていたものの実施できませんでした。ようやく、ビジネスでの移動に関して帰国後の待機期間が短くなり始めています。あともう少しでしょうか。計画していたハンガリー視察を実施できるよう考えていますが、他国への訪問も提案があれば検討していきたいと思いますので、お知らせください。

さて、私は、海外交流委員として、様々な国を視察する機会を頂きました。特色のある教育・保育、政策について、また、国の歴史などを学ぶことができました。しかしながら標準保育時間が十一時間の国にはいまだ出会っていません。でも、保育者の子どもに接するときの丁寧さは日本だなーと思っていますが、皆さん大丈夫ですよね？

緊急事態宣言が解除されても保育の場においての緊張感は続いています。でも制約のある中で、見直すことができたものも多くあります。また子どもたちはどんなときにも楽しいことを見つける天才です。そのエネルギーの恩恵を受けて過ごしていきたいですね。

少子化対策委員会

委員長　一番町保育園　海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費（一事業五万円）を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としています。各支部三事業（十五万円）の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品について、ご協力いただいてありがとうございます。マスクをしなくてもよい場面が増えてくることを期待して、今回新たに「マスクケース」を作成しました。マスクの衛生的な保管に活用ください。クリアファイル、ピンバッチのご用意もあります。お申込みでない方も、施設長研修会などでご協力いただけますのでよろしくお願いします。

申し込みなどシステム化しましたが、キャリアアップ研修の本来の目的である保育の質向上につながる内容になるよう検討を重ね計画しています。

引き続き会員園の皆様にはご理解とご協力よろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長　野中こども園　中村章啓

本年度下半期に予定されていた研修もほぼ終了いたしました。リモート開催としたものもありましたが、講師の先生方のご尽力および皆様のご理解とご協力で、従前と遜色のな

専門委員会 ～活動の報告と計画～

い内容とすることができました。ありがとうございます。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

昨年度以来、『保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書』『保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン』の発行、『保育所における自己評価ガイドライン』の改訂など、保育の質の向上と、それを支える労働環境の整備を促す提案が次々と為されています。また、今年度中には「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」からも何らかの報告・提案が出される見通しです。

研修委員会では、これからの施設長に求められる資質と知見を支える研修を企画していきます。

今年度内の研修会は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会

令和二年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

キャリアアップ委員会

委員長　聖心保育園　吉川慶子

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、先の状況の見通しを立てることも大変でしたが、今年度のキャリアアップ研修も参集型での開催を行ってきました。緊急事態宣言の発令を受け延期になった分野もありましたが、順次開催されました。また、今年度からイーラーニングでの受講も一分野ですが認められ実施されました。感染症への不安から申し込みはしたもののキャンセルされる受講者も多くいらっしゃいましたが、運営スタッフは安全安心の研修会運営に努めてくださり、あらためて感謝申し上げます。

一日でも早く感染症の状況が落ち着き安心して学びの場に参集できる日が来ますように引き続き保育の質の向上に結び付く研修会の実施ができるよう検討していきたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会

委員長　城北保育園　松田剛

研修会やイベントが少しずつですが対面形式で開催されるようになってきました。これからの研修は、ＷＥＢ形式と、対面形式を使い分けて開催されると思われます。どのような形式の研修会でも、皆さんが学んでいる内容をたくさん届けていきたいと思います。

最近の話題は専らコロナのことになってしまいますが、子どもたちを取り巻く環境も変化してきています。広報委員会では新しい情報や、県内各地の保育園やこども園の様子をたくさん伝えていきたいと思います。取材などでお伺いすることがありますが、皆さんのご協力をよろしくお願します。また、新しい企画や要望などありましたらお知らせください。

青年部会

部会長　すみれ認定こども園　後藤恭佑

役員改選後、各支部ともに新たな顔ぶれを迎えて今年も青年部会がスタートしました。役員の先生方におかれましては、信頼の厚い方々に恵まれたことに感謝申し上げるとともに、青年部としても今年も、飛躍の年となることを期待しています。初のリモートでの開催となった今年度の青年部総会とシンポジウムもウェブでの開催となりましたが、多くの会員の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

コロナ禍においても、幼児教育、人材確保、待機児童問題等々、問題は山積みですが、コロナ禍で経験したものは貴重な財産のようにも感じます。それらを生かしつつ、青年部らしく、「とりあえず、動く、やってみよう」の精神で組織としても、個人としても向上できるように、精進して参ります。どうぞ、皆様よろしくお願い致します。

●実績報告

六月四日　青年部総会及びシンポジウム

八月四日　令和三年度男性職員交流研修会

各支部だより

東部支部

支部長　中里保育園　青野貴芳

一、総会及び施設長研修会
期日　令和三年五月十二日（水）
会場　プラサヴェルデ
講師　松岡広也氏（裾野市光明寺住職・ロボ団裾野光明寺教室代表）

二、新規採用職員研修会（前年度分）
期日　令和三年六月十一日（金）
会場　沼津市民文化センター
講師　勝又ひでこ氏（アップハート代表）
長澤弘子氏（メディアリテラシー代表）
土山雅之氏（静岡県保育連合会長）
吉川慶子氏（静岡県保育士会会長）
◇会長の講義はリモートで実施

三、中堅保育者研修会（リモート研修）
期日　令和三年八月二十六日（木）
講師　中村章啓氏（野中こども園）
期日　令和三年十一月十二日（金）
講師　本間功武氏（富士市立中央病院感染症専門看護師）

四、新規採用予定職員研修会
期日　令和四年二月十七日（木）～十八日（金）
会場　プラサヴェルデ

五、保育の日研修会　中止

六、民間部会（県外施設視察研修）　未定

七、行政部会（担当者研修）　未定

八、青年部会研修　未定

中部支部

支部長　一番町保育園　海野美代子

一、総会及び施設長研修会
期日　令和三年五月十四日（金）
会場　静岡県総合社会福祉会館
講師　明星大学　教育学部　教授　星山麻木 氏
☆新型コロナ感染症による影響で研修会はリモートに変更し、開催

二、中堅保育者研修会
期日　令和三年九月二十四日（金）
講師　非営利団体コドモノミカタ　代表理事　井桁容子 氏
テーマ「保育の中の宝物」
☆新型コロナ感染症による影響でリモート研修に変更し、開催

三、職員研修会
期日　令和三年十月二十日（水）
☆新型コロナ感染症による影響でリモート研修に変更し、開催
講師　ふじのくに地球環境史ミュージアム　インタープリター　坂田尚子 氏

四、新規採用予定職員研修会
期日　令和四年二月十七日（木）～十八日（金）
会場　静岡音楽館ＡＯＩ
☆新型コロナ感染症による影響で宿泊なし

五、各地区・青年部会事業
各地区・青年部会の事業計画に基づいて実施

西部支部

支部長　ルンビニこども園　岡田泰稔

一、総会及び施設長研修会　※総会中止
期日　令和三年五月十七日（月）
講師　㈲遊育　代表取締役 吉田 正幸 氏
テーマ「ポストコロナ時代の園運営を考える～問われる保育の質と地域との共生～」
☆施設長研修会はリモート研修に変更

二、中堅職員研修会
期日　令和三年七月二十一日（水）
講師　こんちゅうクン（北野伸雄）氏
テーマ「子どもと向き合う大人のための昆虫教室～虫を通して見えるもの～」

三、男性職員研修会　☆リモート研修
期日　令和三年八月四日（水）
内容　男性職員によるシンポジウム
「それぞれの園、それぞれのやり方で保育って面白い！」
豊田みなみ保育園 園長　宮城翔太 先生
ルンビニあゆみ園 主幹保育教諭　玉越晶雄 先生
みどりのもり都田 主幹保育教諭　山崎 努 先生
桜木こどもの森 園長　岡田博次 先生

四、初任職員研修会
期日 令和三年十一月二十四日（水）
講師　絵本作家　山口 マオ 氏

五、新規採用予定職員研修会
期日　令和四年二月二十一（月）～二十二日（火）

保育士届出制度

保育士資格をお持ちの皆さま、届出をお願いします。

対象

- 保育士資格をお持ちの方
- 保育所・認定こども園等を離職予定の方、もしくはすでに離職された方
- 保育士資格取得予定の学生等
- 現在、保育士として就労中で、情報等が欲しい方

情報提供は無料です。
メールについては、別途通信料がかかります。

届出のメリット

- 保育士の再就職支援等の研修・セミナーの御案内
- 個別の状況に応じた復職相談、情報提供などの支援
- 保育所等における職場体験・見学の受け入れ調整
- 再就職準備金貸付（最大40万円）の御案内

届出方法は、こちら！

ホームページからカンタンにご登録

届出登録システムは「福祉のお仕事ホームページ」を利用しています。

※インターネット環境が利用できない方は、当センターより届出書を郵送します。
下記、お問い合わせ先まで、御連絡ください。

※静岡県では保育士届出制度は、平成27年3月からはじまっています！

保育士・保育所支援センターでは、保育の仕事を探している方と人材を求めている保育所との橋渡しをします。

求職者との個別相談、園の見学や体験事業、就職フェアやセミナーなどを通して
お仕事の紹介をしています。

無料

「福祉のお仕事」

「福祉のお仕事」からインターネット経由で求人の申請ができます。
https://www.fukushi-work.jp/

【個人情報の取り扱いについて】
届出者の個人情報は、本会プライバシーポリシーに基づき、本事業の運営に係る目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。

お問い合わせ先

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会　福祉人材無料職業紹介所　厚生労働大臣許可

静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センター　静岡県・静岡市委託事業

（通称：しずおか保育士・保育所支援センター）

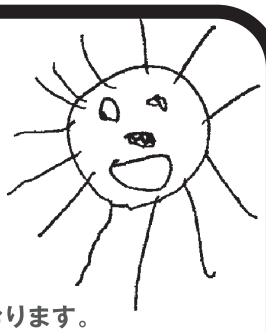
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館シズウエル3階　静岡県社会福祉人材センター内

TEL 054-271-2110 FAX 054-272-8831

ホームページ http://www.shizuoka-hoiku.jp

メールアドレス hoikujinzai@shizuoka-wel.jp

園および園児をさまざまな リスクからサポートします



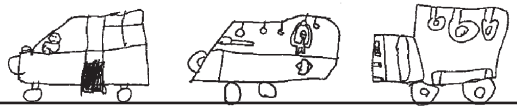
園経営には、さまざまなリスクが伴います。
公益社団法人全国私立保育連盟指定代理店である（有）ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険）」
「新型コロナウイルス等対応費用補償特約（2021年4月以降）」など、
園経営における従来のリスクに加えて 新型コロナウイルス感染症にも
対応する保険を ご用意しております。

やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクと
レピュテーション（風評被害）リスクに関する保険となります。



上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

このご案内は**施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団　体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付費用・利益保険）**の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

〈引受保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社　担当課:公務第二部 文教公務室　TEL:03-3515-4134

連絡先

公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ　TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用無料

きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは
伝えきれない園での豊かな活動、
子どもたちが自ら学び・育つ姿を
「見える化」するアプリです。

- 保育者の業務省力化
- 子どもの学び・育ちの見える化
- 緊急時の連絡手段

正式利用お申込みの全施設
最大９ヵ月
利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！
利用しやすい価格になりました！
年間一括利用料6万円
ひと月あたり 5,000円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金が変更になる可能性はございます。

詳しくはお問い合わせください。
＜担当者:菅沼、佐藤＞

20-TC09799　2021年2月作成

紙から創る、コミュニケーション

http://dainichi-p.co.jp

自社製造のメモ帳専門メーカーメモ工房。年間500万冊以上の実績。販促、ノベルティに最適なメモのことなら大日三協(株)のメモ工房へ！

メモ工房 MeMo KouBou

大日三協株式会社

静岡県静岡市葵区流通センター12-1
TEL:054-263-2435(代)・FAX:054-263-2409

その他にも色々なメモ帳をご用意！
メモ工房 検索

さまざまな危険からお子さまをお守りする

2021年1月現在の内容です。

『キッズガード』(園児総合保障制度(こども総合保険))

AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな"おまもり"として本制度をお届けいたしております。

S-210046(202201)

静岡支店　〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-1 富士火災静岡ビル5階 TEL：054-255-5141

浜松支店　〒430-7715 浜松市中区板屋町111-2 浜松アクトタワー15階 TEL：053-454-0321

沼津支店　〒410-0801 沼津市大手町2-10-14 TEL：055-963-8081

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ

さぁ、ワクワク探しの旅に出かけよう！ www.tobutoptours.co.jp

“Warm Heart”
～ありがとうの連鎖を～

東武トップツアーズ

静岡支店
〒420-0859
静岡県静岡市葵区栄町３番１号
あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F
TEL.054-255-1919　FAX.054-252-9509

こどもの笑顔がみたいから

安心・安全な
保育園用おやつ

全国の保育園から
お使い頂いてます

株式会社サンワールド

＜静岡支店＞〒421-0121　静岡市駿河区広野2-10-17
TEL054-256-6332　http://www.sunworld-honsha.co.jp

PAL ANGEL 園児支援システム

子ども・子育て支援制度対応・ＩＣＴ補助金対象システム
「ＰＡＬ　ＡＮＧＥＬ（パルエンジェル）」

ICカードで簡単操作の登降園管理、園務日誌、保育計画、報告書等、多様化する 保育園の事務作業をサポートいたします。クラウドサービスで安心です！

園の紹介、情報公開は簡単便利な
ホームページで！
「らくらく更新ｗｅｂ」
苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が園のパソコンで簡単に更新できます！

簡単操作のメール配信システム
低価格で多機能！
「チェックインシステム」
緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲覧状況、受信状況も把握できます！

株式会社 データサービスセンター
〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2
TEL:055-972-7717　FAX:055-976-1057
http://www.dataeast.co.jp　E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp

OA機器・システム商品・オフィス家具
経費削減のお手伝い
見積・相談無料
株式会社 Net
Net 沼津 検索
TEL 055-939-6100
沼津市米山町 12-15

保育川柳大募集

県保育連合会
広報委員会では、「保育」に関する川柳を募集します。
笑っちゃう川柳、考えさせられる川柳、ほっこりする川柳など、子どもたちの何気ない姿や仕事中に見つけたことなど、「五・七・五」のリズムに乗せてご応募ください
たくさんの応募を待ってます。
頂いた作品の中から、最優秀作品賞として次号のほいく静岡に紹介します。

【応募期限】
令和四年三月三十一日

【応募方法】
メールでお知らせします。

〈例〉
「保育園
子どもの笑顔
溢れてる」

編集後記

富士市　すみれ認定こども園　後藤恭佑
バタバタとしていたら、あっという間に年末ですね。今年も一年お世話になりました。

伊豆の国市　慈恩こども園　土山龍之
逃げると追われる。文章を書くことから逃げ続けて、結果、今です。頑張ります。

御殿場市　神山認定こども園　本崎泰人
今回、大規模施設を訪問し取材しました。撮影も大変でしたが、とても勉強になりました。

御殿場市　すみれ保育園　鷹野一広
無事に六十周年式典が開催できました。冬号で式典の様子がお伝えできることを嬉しく思います。

静岡市　城北保育園　松田　剛
ほいく静岡八八号が発行されるときにはコロナが終息していますように。

静岡市　有度十七夜山保育園　笠井友泰
支部だよりを担当しました。東中西部の皆様有難うございました。

静岡市　草薙ふたばこども園　市川千暁
今後は、不摂生を控え体調をしっかり整えます。編集作業ありがとうございました。

静岡市　ほのぼの保育園　坂井玄気
お願いには〝はい〟かＹｅｓで答える世代ですが部下からＮＯを言われまくる理不尽さ。

島田市　認定こども園　エルフのゆめ　平野貴久
北風の季節となりました。この風がコロナを吹き飛ばし、保育業界の追い風となりますように。

浜松市　ひくまこども園　山田佳敬
ようやく様々な事業が動き出し、楽しくなってきましたね。

掛川市　葛ヶ丘保育園　相馬良正
会議に参加できず本当に申し訳ありません。編集大変お疲れ様です。

湖西市　真愛三ツ谷こども園　松浦弘太郎
緊急事態宣言も明け、これから色々と忙しくなりそうです。

わんぱくひろば

「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。

投稿先 静岡県保育連合会

〒420-0856　静岡市葵区駿府町1番70号

TEL : 054-251-8873